



「友好の絆」は、
海を越えて



ダボ市でホームステイをしたことは私の人生を大きく変えました。中2の片言な英語を「ぶら下げて出発した私は、無知と無力を体いっぱい浴びて帰国をすることにしました。

自分の英語力では本当に伝えたいことは何も伝えられないのです。何より悔しかったことは、大変親切に、私のことを家族の一員として扱ってくれたホストファミリーに、感謝の気持ちを伝え切れなかったことです。

このもどかしさを胸に、私は日本での新たな生活を始めることになりました。外国語を話せるということ、もっとたくさんの人と話ができ、文化や考え



片桐麻衣さん
(山之上町出身)

ダボ市での経験が、私の進路を決めました

方が違う人々との交流を可能にして貴重なものが得られる、そういう魅力から自分の進路はもうこの時から揺るぎないものになりました。

たくさんの人に支えられ、特に両親は私の生き方を寛大に受け入れてくれ、まじめに勉強すらしなかった私でも信じて支えてくれました。

そして私がダボ市から帰ってきて決めた4年越しの夢、大阪外国語大学合格をかなえることができました。この大学は36カ国語の外国語を学べる大学で、私は自分と同じ姿勢を持つ同士とともに充実した生活を送っています。

今はインドネシア語と英語を専攻していますが、これからもっとたくさん言語を学んで、日本人では分からないことを少しずつ理解していけたらと思います。

国際経験を積むことにより、美濃加茂市の国際化に寄与してほしい



美濃加茂国際交流協会
会長 板頭芳樹さん

今年の派遣で15周年を迎えるわけですが、この派遣事業は、ダボ市との交流の「中心的事業」として継続され、15年間トラブルもなく本当に良かったと思います。派遣される子どもたちも、国際経験を積むことにより、美濃加茂市の国際化と共生のまちづくりに寄与してくれればと思います。

また、一昨年寄贈した日本庭園や茶室は、ダボ市の人たちに大変喜ばれていると聞いています。この庭園で結婚式も数回行われたと聞いています。

一つ課題は、ダボ市からの美濃加茂市への訪問が少ないことですが、これは、渡航費用などの問題もあり残念ですね。

しかし、ダボ市にも交流協会の体制が整いつつあると聞いています。今後の活動が楽しみです。

- お知らせ -

姉妹都市提携 15周年記念式典
と き 11月6日(土)
午後4時～
ところ シティホテル美濃加茂

姉妹都市提携 15周年記念式典
に出席のため、ダボ市より市長
のアラン・スミスさんほか20人
ほどが、来市されます。

一行は、市内の家庭に数日間
ホームステイされ、市民の皆さん
と友好を深めるとともに、日本
文化に触れられる予定です。

※国際交流に興味のある人、または、入会を希望される人は、
美濃加茂国際協会事務局 (505-0041 太田町2689・まちづくりセンター内) まで、ご連絡ください。
電話・FAX 24-7771 URL: <http://www.miea-jp.com/> E-Mail: office@miea-jp.com